

令和5年度 学校経営計画

校長 伊達崎 広

I 目指す学校像

本校は、昭和15年に東京府立第十六高等女学校として創設されて以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、「自他の敬愛と協力の精神をもち、変化する社会に対応できる自主性と創造力に富んだ人間の育成」を教育目標に掲げ、教職員一丸となり組織の力を活用して、目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進する。

【目指す学校像】

- (1) 生徒の心を育て、自主性と創造力を伸ばす学校
- (2) 生徒の学力向上を最大限に支援し、進路希望を実現する学校
- (3) 地域とともにあり、地域と協力して社会貢献する学校
- (4) 入学した生徒全員が「学ぶ喜び」を実感し、本校を母校として卒業する学校

II 中期的重点目標

南葛は、生徒一人一人に寄り添い、個に応じたきめ細かな指導で生徒を丁寧に育てることにより、目指す学校像を実現し、教育目標を達成するために次の教育実践を行う。

- (1) 自己の在り方や生き方を考えさせ、心を育てる教育を推進する。
- (2) 大学、看護学校、公務員等の受験を目指す生徒を支援する体制を強化する。
- (3) 在京外国人生徒への支援及び指導体制をより一層充実する。
- (4) 組織的な教育相談活動をさらに推進し、生徒一人一人の課題解決を支援する。
- (5) 教育研究活動をさらに推進し、新たな時代を担う教員を育成する。
- (6) 教育現場にふさわしい整理・整頓を進め、組織的、計画的な学校運営を推進する。

以上の教育活動について、ポストコロナを見据えて、今年度を新しい南葛を創るスタートとして位置付け、「生徒の心を育て、未来をはぐくむ あたらしい南葛」をスローガンとして取り組んでいく。

III 今年度の取組目標と方策

1 学習指導の充実

- (1) 学び直しや基礎学力の確実に身に付けさせる指導を徹底する。
 - 個々の生徒の学力の把握 ○基礎力診断テストの結果の分析 ○Dゾーンの生徒へのアプローチ
 - ワンウィークトライアルの徹底活用 ○基礎力診断テストの復習の徹底 ○中学までの学習内容の復習のための講習会 ○勉強習慣や勉強方法を身に付けさせるための指導・支援 ○合理的配慮に基づく個に応じた学習支援の充実 ○Classiの徹底活用 ○放課後自習室の活用 ○習熟度別授業、少人数編成授業 ○朝学習の活用 ○教務規定の見直し など
- (2) 日本語指導の充実し、在京外国人生徒の学習活動や学校生活を支援する。
 - 在京外国人生徒支援委員会による組織的支援 ○在京外国人生徒支援委員会と学年及び進路部の連携 ○多文化共生スクールサポートセンターの活用 ○明海大学との連携 ○在京生の日本語力の把握 ○日本語力向上の目標設定 ○合理的配慮に基づく個に応じた学習支援の充実 ○日本語検定の活用 ○特別な教育課程の策定 ○翻訳サービスの活用 ○通訳の活用 ○多文化共生の推進 ○交流行事 など
- (3) 主体的・対話的で深い学びを実現する、組織的な授業改善の取組を推進する。
 - ア ユニバーサルデザインに基づく授業づくりを推進する。
 - 授業環境の整備 ○授業の構造化 ○誰にでも分かる問いかけ ○指導内容の視覚化 ○受ける側の立場に立った指導 ○できない理由の理解 など
 - イ 学びに向かう力をはぐくむ授業づくりを推進する。
 - 授業開始時の授業目標の明確化 ○授業内容の構造化 ○授業最後の振り返りとまとめ ○興味関

心を高める工夫 ○実験・実習 ○学び合い ○学習内容の視覚化 ○ほめる指導 ○分かりやすい授業 ○生徒の個に応じた指導・支援 ○生徒の学びたいことの把握 ○放課後自習室の活用 など
ウ 指導と評価の一体化

○評価計画 ○評価をフィードバックした授業作り ○ワンペーパーポートフォリオ(OPP) ○ポートフォリオの活用 ○生徒による授業評価の活用 ○授業の感想へのフィードバック ○観点別評価Cへの補充指導 ○定期考査の分析 など

エ 教科主任会議や教科会を中心とした組織的な授業改善に取り組む。

○年間スケジュールの策定 ○授業改善の目標や内容の明確化 ○記録と報告 ○教員相互の授業見学 ○授業についての意見交換 など

オ 学びの基盤プロジェクトや若手や中堅教員を中心とした研究授業と研究協議を行う。

○現状の把握と課題の設定 ○年間スケジュールの策定 ○課題解決の方向性 ○生徒による授業評価 ○生徒の変容の測定 ○授業力向上の確認 ○研究仮説の設定 ○仮説に基づく授業作り ○検証のための研究授業 ○生徒の変容の測定と分析 ○仮説検証のための研究協議

カ ICTを活用した授業づくりを進める。

○一人一台端末の活用 ○オンライン授業への対応 ○採点システムの活用 ○指導内容の視覚化

(4) 全ての教科・科目において、探究的な学習を取り入れる。

○「総合」における探究学習 ○教科横断的な探究活動 ○放課後探究教室「なんチャレ」の開設 ○AO選抜、総合型選抜への支援 ○大学との連携 ○外部団体との連携 など

(5) 社会で必要とされる力を身に付けさせる学習を推進する。

○体力向上の取組 ○食育教育、健康教育 ○図書室の利用促進 ○ビブリオバトル校内予選の充実 ○ソーシャルスキルトレーニング(SST) ○主権者教育、消費者教育、人権教育等 ○コミュニケーションアシスト講座の活用 ○通級指導 など

2 進路指導

(1) 高い志をはぐくみ、目標に向かって努力する生徒を支援する進路指導を推進する。

○進路指導部と各学年の情報共有 ○指導方針の共有 ○進路指導のスケジュールの周知 ○指導上の課題の全体共有 ○定期的、計画的な進路面接の実施 ○ハローワークや労働局等との連携

(2) 3年間を見通したキャリア教育体制をより一層充実する。

○外部関係機関と連携した進路行事 ○進路指導資料の内容充実 ○進路指導資料の活用方法の工夫 ○介護体験、保育体験 ○地域行事への参加 ○ボランティア活動の推進 ○NPO法人によるワークショップ ○進路指導ニュースの定期的発行

(3) 大学進学、看護系専門学校、公務員就職等を希望する生徒への支援体制を強化する。

○土曜講習会の実施 ○放課後自習室(南葛SSC)による自主学習の支援 ○模擬試験を活用した進学対策及び学力向上の支援 ○英語検定、漢字検定

3 生活指導

(1) より良い学校生活の在り方を生徒とともに考え、実現していく組織的な生活指導を推進する。

○生活指導部と学年が指導方針を共有 ○校内が一致した組織的な指導 ○生活指導ルールの丁寧な説明 ○理解と納得を前提とした指導 ○生徒支援の視点から行う生活指導 ○生徒会による学校生活改善要望の取りまとめ ○合理的排除に基づく指導をなくす ○生活指導規定や校則の見直し

(2) 規則正しく、安全安心な学校生活を送るための指導、危険を予測し回避するための指導を推進する。

○ガイドラインに沿った基本的感染対策 ○定期的、計画的な遅刻指導、服装指導、頭髪指導 ○昼休みの立ち番や校舎内外の巡回指導 ○貴重品管理の指導徹底 ○いじめや暴力を絶対に許さない指導 ○いじめの早期発見、早期対応、組織的対応 ○朝のあいさつ ○授業開始時と終了時のあいさつ ○関係機関と連携したセーフティー教室、防災訓練、避難訓練 ○SNSの指導徹底 ○自転車運転の法令順守の指導徹底 ○ヘルメット着用推奨

(3) 教育相談を推進して、生徒の心を育てるための指導や支援を充実する。

○組織的な教育相談体制 ○生徒に寄り添う指導 ○生徒の課題解決を支援 ○スクリーニングの活用
○合理的配慮の推進 ○予防的心理教育の推進 ○早期発見と事前対応 ○専門スタッフ（SC、YSW、臨床心理士等）との連携 ○外部関係諸機関（医療機関、児童相談所、子ども家庭センター、区役所福祉課、居場所づくりNPO、少年センター、保健師、民生委員、保護司等）との連携 ○人権教育の推進 ○自分を大切にすると共に他者を大切にすることをはぐくむ ○多文化共生の推進 ○多様性を肯定 ○SOSの出し方に関する教育 ○自殺防止の取組

4 特別活動、部活動、その他

(1) 体育祭、文化祭(南葛祭)等の学校行事を充実させる。

○準備スケジュールの明確化 ○委員会活動内容の共有 ○生徒指導部と学年の連携 ○生徒の創意工夫の実現を支援 ○PTAとの連携 ○保護者の参観 ○地域への配慮

(2) 生徒会活動を活性化し、生徒の意見を代表し、課題解決に向けて活動するよう指導する。

○生徒会による生徒の要望の把握 ○生徒会との対話 ○生徒が参加する学校生活のルール作り ○民主主義を体験できる学校生活

(3) ホームルーム活動、委員会活動を活性化し、身の回りの課題を生徒自身の力で解決する態度を養う。

○年間計画に基づいたホームルーム活動 ○構成的エンカウンターやSSTの活用 ○委員会の活動目標の設定 ○委員会活動のスケジュールの明確化 ○委員会活動の内容の明確化

(4) 部活動を推進し、目標に向かって努力する心をはぐくむ。

○部活動の目標の明確化 ○ガイドラインに沿った活動 ○年間活動計画、月間活動計画の作成 ○毎月の活動報告 ○活動内容のホームページ掲載と定期的更新

(5) 部活動、委員会活動、ホームルーム活動を通じたボランティアや地域貢献を推進する。

○葛飾区との連携 ○募集活動への参加 ○地域社会への貢献 ○小中学校との連携

5 学校運営

(1) 校内の整理整頓を徹底して行い、学習環境、執務環境の美化、整備を進める。

○机上整理 ○定期的な職員室の大掃除 ○不要物の廃棄 ○準備室、教材室の整理整頓 ○必要な什器の補充 ○置き場所を決める ○生徒机・いすの計画的な更新 ○安全衛生委員会による執務環境の整備

(2) 組織的、自律的な学校運営を推進する。

○企画調整会議への情報の集約 ○年間計画に基づく計画的な学校運営 ○2週間前までの実施要項決定 ○電子起案の徹底 ○経営課題を解決するためのPTの活用 ○報告・連絡・相談の徹底 ○ICTの活用徹底

(3) 経営企画室の学校経営への参画を推進する。

○年間計画に基づく自立経営予算の編成 ○計画的な予算執行 ○経営課題を解決するための機動的予算執行 ○経営企画室の業務軽減 ○ICTの活用徹底 ○経営企画室と分掌、学年との情報共有の徹底

(4) 服務事故防止研修を実施し、服務事故の防止と体罰の根絶に努める。

○服務事故防止研修 ○日常的な事故防止の注意喚起

(5) 授業公開、保護者会、学校行事等の公開を通じて、開かれた学校運営を推進する。

○授業公開における研究授業の実施 ○計画的な保護者会の実施 ○地域や保護者への学校行事の公開

(6) 大規模災害への備えや防災対策について、組織的な体制を整備する。

○定型的な防災訓練、避難訓練からの脱却 ○消防署との連携 ○葛飾区防災部局との連携 ○地域社会と連携した訓練の企画

(7) ライフワークバランスを推進する。管理職自ら勤務時間外在校時間の短縮に努め、計画的な休暇の取

得を促す。

○定時退庁デー ○マイ定時退庁デーの推奨 ○産業医による面接の活用 ○計画的な夏休・年休取得の推奨

(8) 生徒募集・広報活動に組織的、計画的に取り組む。

○外部の学校説明会への参加 ○生徒による母校訪問 ○教員による中学校や塾訪問 ○学校での説明会での生徒による説明・案内 ○在京外国人生徒募集枠の説明会の充実 ○中学校の教員向け説明会の実施 ○塾向けの説明会の実施 ○ホームページによる情報発信の充実 ○SNSを活用した広報 ○チラシの新聞折り込み ○駅広報スタンドによるチラシや学校案内の配布

IV 今年度重点目標における数値目標

1 学習指導の充実

- (1) 全員進級、全員卒業（進級率100%、卒業率100%）を目指す。
- (2) 研究授業を年間30回以上、研究協議会を年間6回以上実施する。
- (3) 全教員が、他の教員の授業見学を年2回以上行う。
- (4) 学校評価アンケートで「本校の授業は全体を通じてわかりやすく工夫されている」とする生徒の割合を95%以上とする。

2 進路指導

- (1) 卒業時の進路決定率を95%以上とする。
- (2) 学校評価アンケートで「進路学習や進路指導が進路選択の参考になった」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (3) 4月当初に大学・短大へ進学を希望する生徒の大学・短大への進学率を100%とする。

3 生活指導

- (1) 学校評価アンケートで「教員は相談に親身に対応している」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (2) 学校評価アンケートで「時間を守ることに積極的に取り組んでいる」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (3) 学校評価アンケートで「身だしなみに関するルールを守っている」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (4) 生徒の遅刻総数は前年比30%減少を目指す。

4 特別活動、部活動、その他

- (1) 生徒の部活動加入率65%以上を達成する。
- (2) 学校評価アンケートで「学校生活が楽しく充実している」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (3) 学校評価アンケートで「今年度の体育祭が満足できた」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (4) 学校評価アンケートで「今年度の南葛祭が満足できた」とする生徒の割合を90%以上とする。
- (5) 学校評価アンケートで「本校での生徒会活動は充実している」とする生徒の割合を90%以上とする。

5 学校運営

- (1) 推薦3.50倍以上、学力前期1.20倍以上を目標とする。
- (2) 学校公開、学校説明会、個別相談会、学校見学会での来校中学生の実数600名以上、のべ2000名以上を目指す。
- (3) 全教員平均で夏休取得率100%、年休取得15日以上を目指す。

以上